

《最近の県内経済》(2022年7月を中心として)

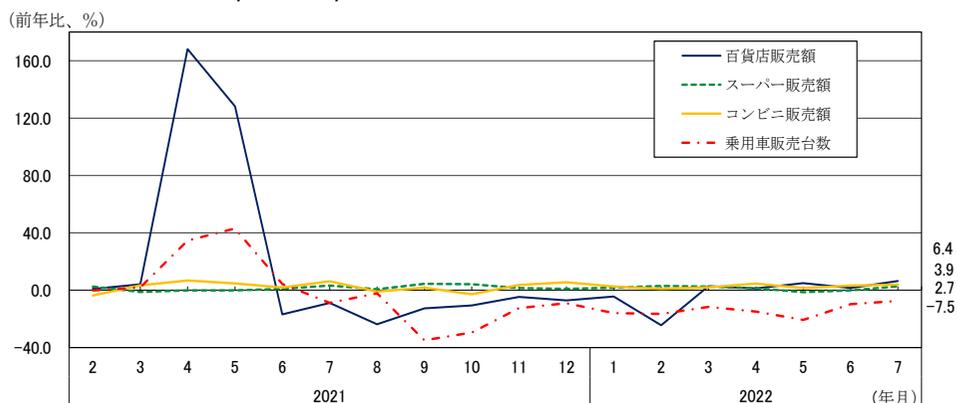
令和4年9月15日

今月の概要

緩やかに持ち直している。

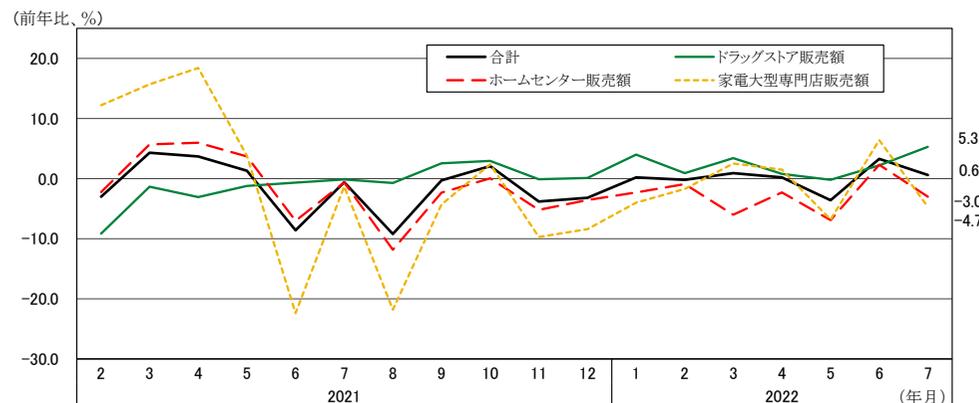
1 個人消費 ～持ち直しの動きが続いている

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直しの動きが続いている。

7月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店が126億円で前年比6.4%増(5か月連続の増加)、スーパーは1,018億円で同2.7%増(3か月ぶりの増加)となった。また、コンビニ販売は586億円で同3.9%増と、9か月連続の増加となった。

また、乗用車販売は、前年比7.5%減と13か月連続の減少となった。内訳をみると、軽乗用車(同7.8%増)は、2か月連続の増加となったものの、普通車(同9.4%減)は11か月連続の減少、小型車(同21.7%減)も14か月連続の減少となった。

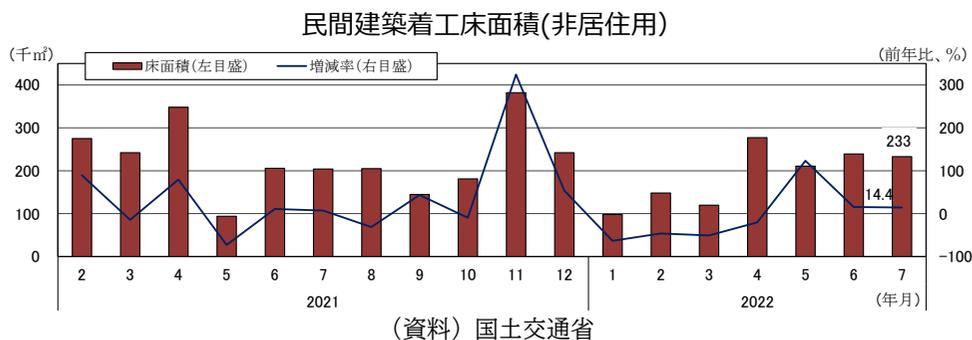
百貨店やスーパーでは、感染再拡大に伴う内食需要の回復や、連日の猛暑による季節商品などが売上に寄与した。

7月の専門量販店販売額は、799億円で前年比0.6%増となった。内訳をみると家電大型専門店が207億円で同4.7%減(2か月ぶりの減少)、ドラッグストアが409億円で同5.3%増(2か月連続の増加)、ホームセンターが184億円で同3.0%減(2か月ぶりの減少)となった。

家電量販店では、冷蔵庫や洗濯機などが堅調に推移した。

関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、6月<32.7>、7月<30.1>、8月<32.1>で推移している。

2 設備投資 ~持ち直している

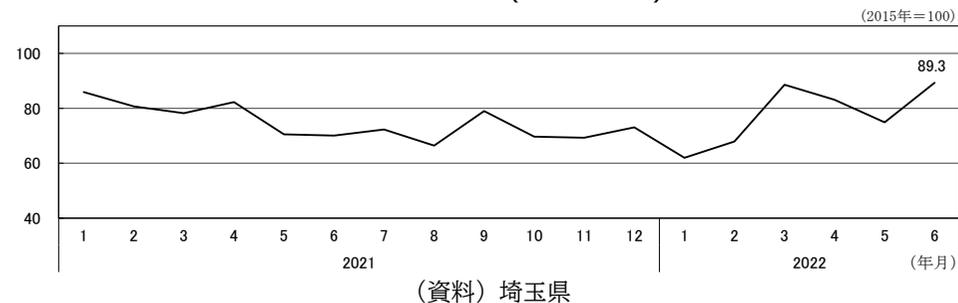


7月の民間建築着工床面積(非居住用)は、233千㎡で前年比14.4%増となった(5か月後方移動平均では前年比1.4%減)。

用途別にみると、事務所、倉庫が減少したものの、店舗、工場及び作業場、学校の校舎、病院・診療所はいずれも増加した。

旺盛な半導体関連需要やEコマース関連需要に加えて、コロナ禍で見送りの案件の実行も幅広い業種で見られる。

資本財出荷指数(季節調整済)



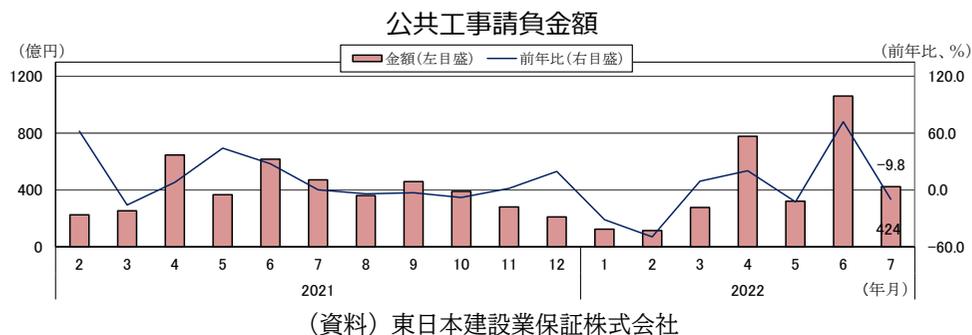
6月の資本財出荷指数(季節調整済)は89.3で、前月比19.2%増と3か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、前年比5.5%増)。

3 住宅建設 ~底堅い動きとなっている



7月の新設住宅着工戸数は、3,945戸で前年比12.5%減と3か月連続の減少となった(5か月後方移動平均では3.2%増、15か月連続の増加)。利用関係別にみると、持家(1,238戸)が同12.4%減、貸家(1,456戸)が同12.2%減、分譲一戸建(1,194戸)が同3.2%減、分譲マンション(32戸)が同83.5%減といずれも減少した。

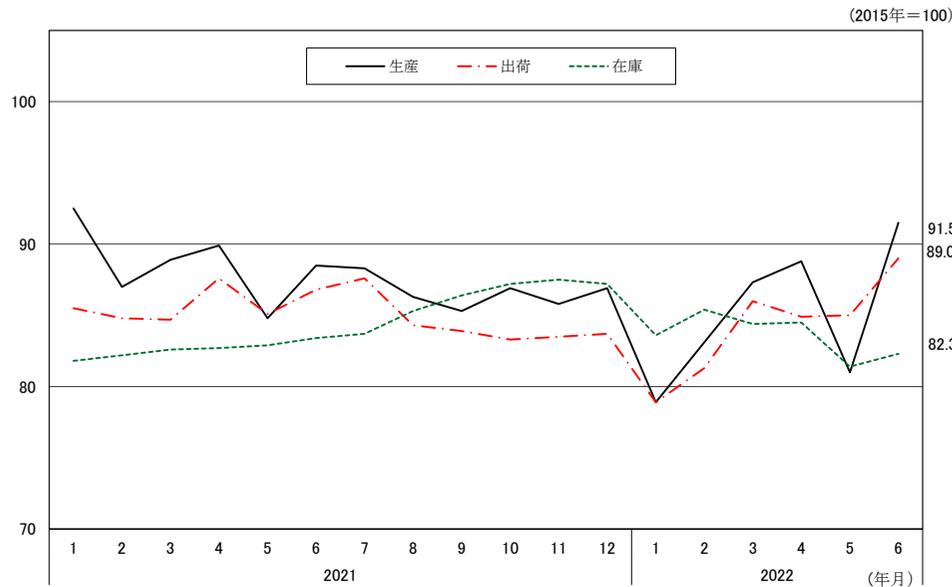
4 公共工事 ~横ばいとなっている



7月の公共工事請負額は424億円、前年比9.8%減となった(2か月ぶりの減少)。5か月後方移動平均では前年比21.5%増で推移。発注者別で見ると独立行政法人等、市区町村は増加したものの、国、都道府県は減少した。

5 生産活動～持ち直しの動きがみられる

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

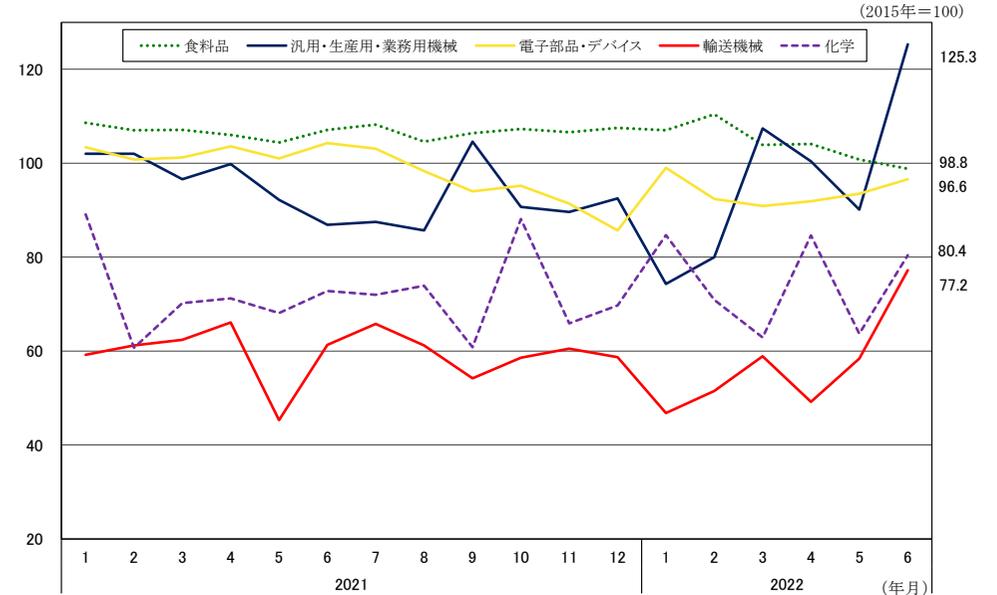
生産活動は、生産用機械、業務用機械などを中心に持ち直しの動きがみられる。

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、91.5で前月比13.0%上昇(2か月ぶりの上昇)。家具(システムキッチン、木製棚)、食料品(炭酸飲料、アイスクリーム)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、包装・荷造機械)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが上昇した。

出荷指数(同)は、89.0で同4.7%上昇(2か月連続の上昇)。鉄鋼(鋼半製品、粗鋼)、食料品(炭酸飲料、アイスクリーム)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、マシンングセンタ)、輸送機械(自動車エンジン、普通トラック)などが上昇した。

在庫指数(同)は、82.3で同1.1%上昇した(2か月ぶりの上昇)。非鉄金属(アルミニウム圧延製品、伸銅製品)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙)などが低下したが、輸送機械(乗用車)、電子部品・デバイス(混成集積回路、線形半導体集積回路)などが上昇した。

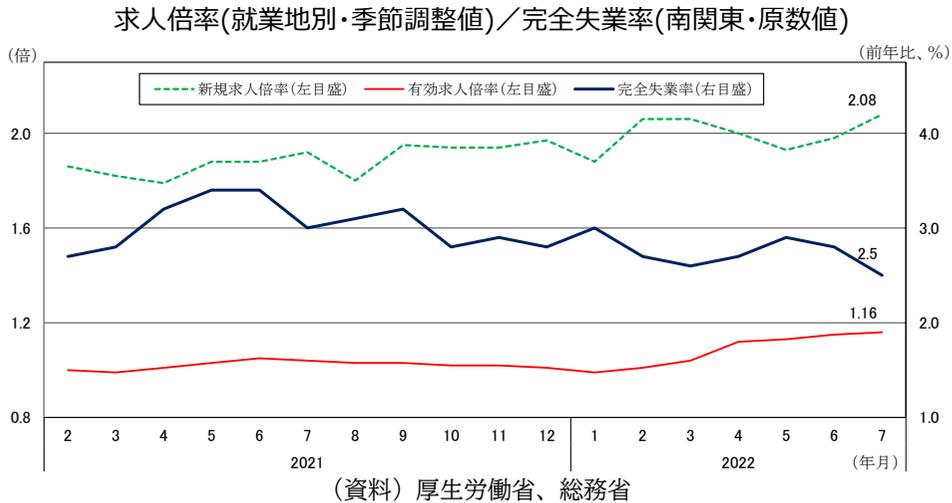
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、98.8で前月比2.0%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、125.3で同38.1%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、96.6で同3.3%上昇し、3か月連続の上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、77.2で同32.2%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、80.4で同26.2%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

6 雇用情勢 ～持ち直しの動きがみられる

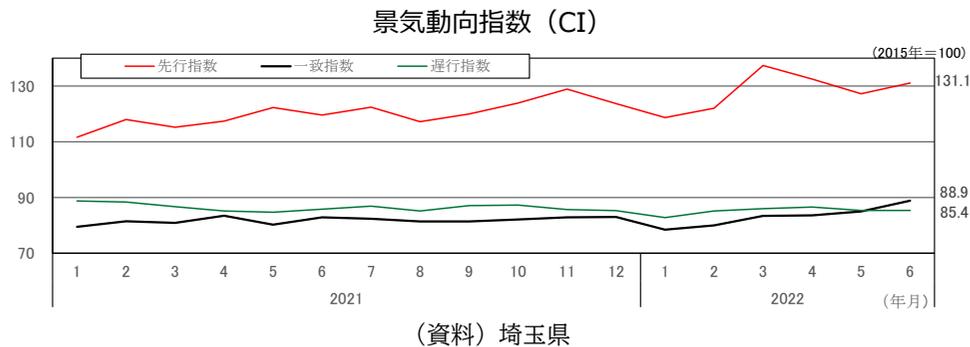


7月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.16倍で前月比0.01ポイント上昇した(6か月連続の上昇)。また、新規求人倍率(同)は、2.08倍で前月比0.10ポイント上昇した(2か月連続の上昇)。

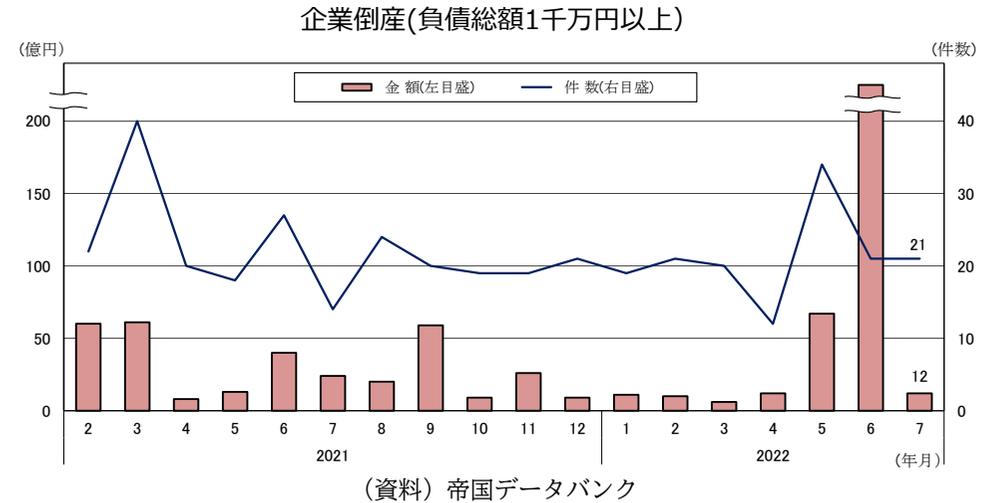
完全失業率(南関東、原数値)は、2.5%で前年同月比0.5ポイント低下した(前年同月比5か月連続の低下)。

〈参考〉

景気動向指数(CI) ～改善を示している



7 企業倒産 ～件数は横ばいで推移



依然としてコロナ対策としての政府の資金繰り支援策もあって、低水準で推移している。

7月の企業倒産件数は、21件で前年同月比7件の増加となった。負債総額は12億円で同12億円の減少となった。

業種別にみると、建設業が最多で6件、次いで小売業、運輸・通信業、サービス業がそれぞれ4件と続いている。主因別では、販売不振が20件となっている。

- 6月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、88.9で前月比3.9ポイント上昇し、5か月連続の上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、131.1で同3.9ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、85.4で前月比横ばいとなった。